

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 10月25日放送分 得意分野で新たな市場を！ ～医療業界初！CTをレンタル～

10月25日放送分 得意分野で新たな市場を！ ～医療業界初！CTをレンタル～

10月25日 (TX・TVO・TSC)

26日 (TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

27日 (BSJ)

群馬県の株式会社フリール(資本金2億8,712万円、従業員数60名)は、価格や操作の複雑性から一般医療機関での導入が困難なCT装置・MRI装置を車に搭載して、レンタルするというサービスを開始した。「より良い医療をどこでも、誰もが安く受けられる社会」という一人の医者の実現した同社の活動を紹介します。

得意分野で新たな市場を！

～医療業界初！CTをレンタル～

[視聴覚教材No. TV15-30](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



体の具合が悪いときにCT(医療検査機械)の検査を受けたことはありますか？

今日の志垣さんは、CTを利用した日本初のサービスを行っている(株)フリールを訪ねる。



こちらが(株)フリールの平川社長。平川社



長が実現した日本初のサービスを見るために、早速、二人で東京、八王子のとある病院へ。

病院の前で待つ志垣さんの前に一台のトレーラーが登場。実はこれが日本初のサービスの正体。フリールが行っているのは、なんと、CTを積んだトレーラーをレンタルするというサービスだ。



CTは病気の早期発見に大きな役割を果たす機械だが、専門知識を持つ人間の不足や高額な費用のため、大きな病院にしか導入が難しかった。そこに登場したのがこのサービス！

CT車に乗り込んだ志垣さんの前に現れたのは白衣を着た平川社長。実は、平川社長はお医者さん。レンタルサービスを始めたきっかけは自らの体験から。



平川社長が病院に勤務していた頃、一病院では難しいCTの導入を、複数の病院で



装置と人を共有化することで実現しようと思いついた。そのアイデアを事業化したのが、「医療機器をレンタルする」というサービス。

病院に通院する患者さんのインタビュー。「近くに来てくれるので助かる」「待ち時間が少ない」と評判は上々。



では、病院の関係者の意見はというと、「病院の医療レベルが上がる」「コスト的に助かる」など、こちらからも好意的な評価。

本来、病院内で使うCTを乗せたCT車の開発には医療機器メーカーに勤める渋川氏が協力。レンタルは新しい市場を作っていると語る平川社長に対し、渋川氏は繁忙期などに借りるといった需要はまだまだであると語った。



POINT: 新しい市場を作ってゆく



CT車を開発した平川社長の前に立ちふさ



がったのは法律の壁。平川社長は、医療六法を勉強し、日本では前例のなかった事業について様々な形で提案しつづけ、少しずつ規制を突破していったと当時の苦勞を語る。

POINT: 法律を勉強し規制を突破!



今後の方向は？と訪ねる志垣さんに、「敷居が高い医療をもっと気軽に受けられるようにしたい」と、平川社長は語った。



[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN